

## 痒いところに手が届かない

これまで：『キャンプポランティア！夜の野外活動』  
『野外活動施設！食堂美味しくないランキング』  
『NPOの闇！男女問題編』など、胸に溜めていたモノを暴露してきた『痒いところに手が届かない』も、この第7回をもって連載終了となります。中でもNPOの間『あの人が辞めた！ホントの理由編』は、大変反響が大きかったですね（笑）

念のため言っておきますが、文春砲のような確たる証拠はありません。当然、盗聴や証拠写真もありません。疑わしい情報にも関わらず、大きな反響を見ると、人の弱みに対する食いつきは、いつの時代も変わりません。

まあとにかく…この連載を執筆してわかったことは「人生、うまくいかない事が多い」ということです。と言うのも、私もうまくいかない時期を過ごしていました。「いました」というより「います」が正しい表現かもしれません。まあ人の話ばかり土俵に乗せていたので、こっから私もカミングアウトです。

実は昨年度…50歳にして初めて、心療内科に行きました。担当医は男性で、年の頃は私より少し上ぐらい。びっくりするぐらい元氣よく「こんにちは！榎本さん」と挨拶。喋り口調は長嶋茂雄さん系です。初診で出た診断名は「適応障害」。医者から言われた時は…「マジかよ〜」これが最初に浮かんだ言葉です。

## 〜キャンプ業界のヒ・ミ・ツ〜

保育園の園長に誘われた時は、生き方や仕事に対する取り組み方が認められたような気持ちになりました。「頑張っている姿は、誰かが見てくれていいはず」なんて言いますよね。本当にそんな想いになり、意気揚々と勤務をスタートしました。キャリアを生かして、やってみたいこともありました。地域の子育て支援、年長児ロングキャンプ、卒園児対象プログラム、職員のおそび研修など。



ところが半年程度たった頃から、なぜか頭がモヤモヤ、胸がソワソワ。次第にやる気が出なくなり、不眠にも。始めて睡眠導入剤のお世話にもなりました。出勤途中で涙がホロホロと流れ落ちる。

「こんなはずじゃない」「俺に限って」「申し訳ない」「出勤しなきゃ」…そんな言葉がグルグル回り続ける。頭の中がずっと薄曇りの感覚。結局、秋頃に欠勤が続く、その後復帰したものの、年明けから再度出勤できない状態となりました。

人間どうしても着地点が欲しいものです。自分なりに原因を考えてみました。腎不全の発症、

コロナ禍で講師の仕事が激減、伯父の突然の死によるゴミ屋敷の処理、保育園でのポジション、阪神タイガースの弱さ…

でも確たる原因は、わからない。医者曰く、上記のこと（阪神タイガースを除いて 笑）が短期間に起こり、環境の変化に適応ができなかったのが原因でしょう。意味は理解できるのですが、やはり薄曇り感はとれません。つまり「うまくいかない時期」を現在進行形で過ごしています。

キャンプや親子あそびなど講師をしている姿をご存知の方が「あんなに元氣で明るく人前でお喋りしていた人が」と思うかもしれませんが…こんなことになってしまったのです。

退職について、お世話になった方々へ個々に連絡をさせていただきましたが…皆さん、とても暖かい言葉をかけてくださいました。

そんな中…講師仲間の絵本パフォーマーでんだいさんが、「なんじゃそりゃ（笑）」と笑い飛ばしてくれました。なんだか晴れ間が見えた感覚でした。たった一言でしたが、スーッと日差しが見えたのです。私も、同じような症状の方がいたら「大丈夫」「ポチポチと」「無理しないで」って声をかけるのでしよう。でも励ましの言葉では、日差しが見えないのかもしれない。「なんじゃそりゃ」は「励まし」ではなく、私にとっては「寄り添い」の言葉でした。

2022年度より講師業に復帰しますが、『寄り添い』を大切に活動していきたいと思っています。みなさん！こんな私ですが、お出会いましたら笑い飛ばしてやってくださいね。ということ

『痒いところに手が届かない』最終回でした。チャンチャン

あそびとお話のデリバリー ドコデモ 榎本英樹